

# 高瀬川だより

NPO法人京都高瀬川繁栄会会報  
編集人 田村佐起三

〒六〇四 八〇三三  
京都市中京区蛸薬師通河原町東入  
電話 (〇七五) 二五三・〇七〇七

## 『揺れる情(こころ)』通信(35)

稲荷山武田病院院長 土屋宜之/元京都医療センター外科部長

患者さんと対話してきますと、時々こちらが返答に窮する事がよくあります。この時にこちらは何か答えないければいけない、こんな気まずい沈黙は患者さんが困ってしまうのにも思いがちです。でもこんな時、最近では宜長さんならどんな事を考えるんだろうと、自然に頭に浮かんでくる事があります。すると案外、静かな温かい沈黙(いい意味での)の時間が流れるんです。焦っていない、こちらの心理状態・表情が患者さんにも伝わります。私と患者さんとの間にすごく安心できる時間が訪れるのです。宜長さんなら素直に率直にあるがままの事を考えるんだろうな、と私が思ったとします。すると穏やかな私の表情を見て、患者さんも冷静になり安心し、患者さんの方からまた話し出される事もあります。

## 京都市京セラ美術館 5月30日〜8月30日

### 《倉敷安耶》

会場 ザ・トライアングル

倉敷安耶(あーや)は作品を通して自己と他者や共同体との関係を探求しています。宗教を主題とした名画にウェブ上の画像や自身が撮影した写真を組み合わせたコラージュをキャンバスに転写、信仰やケアの行為として位置づけた作品にします。また平面作品とは別にインスタレーションや儀式的なパフォーマンスを展開することもあります。

本展では京都の美術という大きな流れの中で語られてきた作品に自身の身体的経験や感覚を重ねること、個人の記憶と歴史の間に新たな関係を構築します。転写によって写し取られるのは画像だけでなく時間やまなざしの蓄積であり、本展は他者や歴史との関わりを考える場となるでしょう。「ザ・トライアングル」は、京都ゆかりの作家を中心に新進作家を育み、訪れる方々が気軽に現代美術に触れる場となることをねらいとしています。

## 《「無常」》

常楽臺住職 今小路覚真

「無常」は仏教の示す真理です。いつ、なぜ、どのようにして始まったのか、時の流れは永遠にそして絶対には止まることも、その速さを変えることなく刻み続けられていくものです。生き物の成長していく姿は、その事実を顕著にわたしに見せてくれます。携帯の待ち受け画面に、孫の誕生間もないあどけない顔の写真を用いています。しかし二歳を迎えた現実の姿からはとても同一人とは見ることが出来ないほどの変わりようです。休むことなく変貌を続ける最中の姿が目前にあります。勿論わたし自身も同じく変貌を遂げていますが、自分自身のこととはなかなか気が付きにくいものです。天体を眺めて見れば数十億光年かなたの星の瞬きを今のわたしが目にすることはありますが、はたしてその瞬く星が現在も存在しているかどうかを確認する術を持ち合わせていません。二千年以上前から続く仏教の原点が「無常」にあることに今一度目を向けましょう。

## 《「ワールドとワールド」イタシヨク 福村直

古くからのワイン生産地であるヨーロッパをオールドワールド(旧世界)、それ以外の生産地としてはまだ若い地域を総じてニューワールド(新世界)と呼びます。新世界では知名度が高く、土地に対する適応能力の高いシャルドネやカベルネなどのフランス産の品種が多く使われ、これらの品種は国際品種として位置づけられるようになりました。日本や中国などアジアでもワインの生産をしています。ヨーロッパと同様、地中海性気候の地域で作られることが多く、最も注目されている新世界としてアメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、そしてチリが挙げられます。一般的に新世界では果実味が強く、濃厚なワインに仕上がる傾向があります。また前衛的なラベルデザイン、またコルクを使わずスクリーニキャップを用いるなど、旧世界のしがらみに縛られない自由で新しい形のワインを生み出します。

## 健康レシピ

栄養士 國松美也子

### 《5月レシピ》

春野菜のスナッパエドムレット(4人分)  
材料:卵5個、茹で筍80g、スナッパエドムレット5個、アスパラガス2本、新玉ねぎ1/2個、新じゃが芋3個、プチトマト4個  
調味料:コンソメ粉小さじ1、ハーブソルト小さじ1、オリーブオイル適量  
お好みでケチャップ適量  
①スナッパエドムレットは筋をとり、アスパラガスは3cm位に切り、ゆがいておく。  
②筍、じゃが芋は1cm角のサイコロにカット、玉ねぎは2cmほどに長く切り、プチトマトは半分はカットしておく。  
③フライパン(26cm)に油をひき、じゃが芋、玉ねぎを炒め火を通す。  
それから筍、アスパラガスを入れ、ハーブソルトを小さじ1/2を入れて炒める。  
④ボールに卵を溶いてコンソメ粉、ハーブソルト小さじ1/2を入れて混ぜる。  
⑤④のボールに③の具を入れて混ぜる。  
⑥フライパンに油を追加でひき、中火で温めそこに⑤を入れ形を整えて、上にプチトマトとサヤを開いたスナッパエドムレットをバラス良く並べる。  
弱火にして蓋をして火を通す。  
⑦底がよい色になれば蓋をひっくり返して片面焼く!  
少し押し卵液が出てこなくなれば完成♪

## 《大原流声明雑話(35)》 實光院住職 天納玄雄

元は慈覚大師円仁の事蹟をもととして、修行として始まった「妙法蓮華経」の書写であるが、貴族社会に広まっていくなかで、次第にさまざまな形の写経が現れてくる。たとえば、紺色の紙に金泥や銀泥で書写したもの、一行ごとに金泥と銀泥を交互に用いたものがある。さらには法華経の文字は仏と同等であるという考えから、経文一字ごとに仏が座す蓮華の台座を書き加える「一字蓮台経」や、文字の横に一体ずつ仏を描く「一字一仏経」なども生まれた。また、経典に説かれる仏国土の情景を随所に描いたものや、金銀砂子を散らした料紙に書写したものなどもある。これらの装飾経典として有名なものは、奥州平泉の「中尊寺経」や、平家が畷島神社に奉納した「平家納経」である。これらは貴族社会に広まった法華信仰のひとつの信心の発露である。

信心の発露である。